

令和7年度 2年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	2年次
科目名	絵画	履修	選択	開講	通年
教科書		副教材			
1 学習の目標					
○いろいろな表現形式による絵画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。					
2 学習の方法					
表現と鑑賞の2つの領域について、次の内容を学習します。					
○表現 ペン画…………… 透視図法に加え線の密度による濃淡の表現を身に付け、自分らしい表現 油彩画…………… 主題を設定し、それにふさわしいマチエールづくりなどを通して、油絵の技法の幅を広げ、自分らしい表現を目指します。 デザイン… 自由度の高さを生かし、自分らしい表現を目指します。					
○鑑賞 制作した作品を互いに鑑賞し合います。また様々な美術作品に触れ、作品のよさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めます。					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能		創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。			
思考・判断・表現		感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている。			
主体的に学習に取り組む態度		美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。			
②評価の方法					
材料	ワークシート	アイデアスケッチ	制作過程	作品	評価方法
観点					
知識・技能	○	○	○	○	知識や技能を学び活用できているか評価する。
思考・判断・表現	○	○	○	○	課題に対しての思考、アイデアを活かし作品を制作、発表ができていないか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	授業及び課題、ワークシート、グループワーク、発表等における主体的・協働的取り組みを評価する。
4 その他					
・水彩・油彩・イラストレーション・漫画など、絵画について幅広く学びます。 ・透視図法はファインアートに限らず、漫画やデザインにも有用です。いわゆる「パース」を自然にとることができるように練習したいと思います。 ・制作に当たっては、主題(表したいこと)を設定し、効果的に表すことを考えて制作を進めます。 外部の評価を得たい人は公募展出品を視野に入れて制作してほしいと思います。					

5 単元の目標・評価						
単元名	ペン細密画					
単元の目標	モチーフの選択、線の密と粗のバランスの効果を考え画面を構成する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究、制作、鑑賞					
活動内容	ペン細密画作品の制作					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	遠近法や模様、塗りつぶし、白抜きの効果的を組み合わせ、創造的に表している。	魅力的なモチーフと場面表現の構想を練っている。		遠近法や密度に関心を持ち、活用しようとする。 透明水彩絵の具に関心を持ち、特性や使い方を理解しようとする。		
単元名	油彩画 抽象表現「心のイメージ」					
単元の目標	具象画、抽象画の概念を理解し感性や想像力を働かせて、自己、社会などを深く見つめ主題を生成する。 主題を効果的に表現するために構図・配色・マチエールを工夫して表現する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究・個人・鑑賞					
活動内容	油彩画 抽象作品の制作と相互鑑賞					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	主題を効果的に表現するために構図や配色を吟味し、マチエールを工夫して創造的に表している。	自己を深く見つめ主題を生成し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		形の無い心を表現することに関心を持ち、表現しようとする。 油彩画におけるマチエールに関心を持ち、工夫して表現しようとする。		
単元名	デザイン・『ショップデザイン』					
単元の目標	用途に合わせた構造やデザインを考案し、プレゼンテーション資料にまとめ発表する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究・個人・グループ検討・鑑賞					
活動内容	教材視聴・研究・企画・資料制作					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	主題を効果的に表現するために構造や内装デザイン等、吟味し、画材・技法を効果的に組み合わせ創造的に表している。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		設定した主題に合う表現方法を選び、工夫して表現しようとする。		

単元名	自由制作					
単元の目標	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生成する。 主題を効果的に表現するための画材・技法・サイズを考え、制作する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。		感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。	

6		年間計画					
学期	月	単元		項目	予定時数	考査	
前期	4	オリエンテーション	『絵画』の学習内容を知り、見通しを持つ。		2	前期中間考査	
		ペン細密画 想像の世界	作品構想 ○モチーフ ○画面構成	モチーフと場面の選択、構想 配置と塗りつぶし、白抜きのバランスを計画する	12		
	5	作品制作 ○下絵をかく ○ペン画について知る ○彩色する ○仕上げる ○鑑賞する		画用紙に下絵をかく ペン画の様々な技法について知る。 技法を選び、計画的に彩色する。 画面全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。			22
		6	油彩画 抽象表現	主題を生成する ○自然、自己、社会を見つめる ○想像を膨らませ、主題を生成する		22	
	7			油彩画をかく ○キャンバスをつくる ○下絵をかく ○下地をつくる			
		8		キャンバスの規格・素材について理解し、作成する。 主題が効果的に表せるようにマチエールを工夫して下地をつくる。			
	9			○かき進める ○仕上げる ○鑑賞する 個性的な表現を目指して計画的にかき進める。 画面全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。			
		後期	10	デザイン (ショップデザイン)	建築パース基本 ○透視図法の基本、デザイン画の構図 ○ショップの企画 営業形態、外装・内装デザイン		12
	○プレゼンテーション資料の構想と制作 ○プレゼンテーション 相互評価						
	12		自由制作	○主題を生成する 美的直観力や自己の内面世界などを自由に用いて、創造的な表現となるように、作品の主題を生成する。		24	後期期末考査
○表現方法を選択する 主題を明確に表すために、水彩画、油絵、イラストレーション、漫画やそれらの複合などの表現方法を選ぶ。							
○表現する 制作の計画を立て、材料を準備する。 計画をもとに柔軟に制作を進める。							
○仕上げる 作品全体を見て、色調や質感を整えて仕上げる。							
1	○鑑賞する 互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作の課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。						